

Q77 介護のことでお世話になっている人の人数

表 132 お世話になっている人の人数

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	Mean	SD	Mean	SD	Mean	SD	
平均	2.57	2.51	2.45	2.06	2.53	2.35	n.s.

介護のことで相談に乗ってもらったり, 手助けしてもらえ人の人数をたずねた。葛飾では平均 2.57 人, 大館・田代では 2.45 人で地域間に差は見られなかった。

Q78 介護以前の関係

表 133 介護以前の関係項目 (Q43)

(1)よく話をしていた

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	489	74.9	302	79.3	791	76.5	n.s.
いいえ	164	25.1	79	20.7	243	23.5	
計	653	100.0	381	100.0	1034	100.0	

(2)特別な日を一緒に過ごした

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	550	84.4	297	78.2	847	82.1	P<.01
いいえ	102	15.6	83	21.8	185	17.9	
計	652	100.0	380	100.0	1032	100.0	

(3)経済的支援を受けていた

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	320	49.2	208	55.2	528	51.4	P<.05
いいえ	331	50.8	169	44.8	500	48.6	
計	651	100.0	377	100.0	1028	100.0	

(4)要介護者を頼りにしていた

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	410	62.7	257	67.5	667	64.4	n.s.
どちらとも言えない	131	20.0	57	15.0	188	18.2	
いいえ	113	17.3	67	17.6	180	17.4	
計	654	100.0	381	100.0	1035	100.0	

(5) 要介護者は周囲から尊敬されていた

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	411	63.0	251	65.9	662	64.1	n.s.
どちらとも言えない	191	29.3	102	26.8	293	28.4	
いいえ	50	7.7	28	7.3	78	7.6	
計	652	100.0	381	100.0	1033	100.0	

(6) 要介護者と打ち解けた関係だった

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	500	76.5	285	75.0	785	75.9	n.s.
どちらとも言えない	104	15.9	67	17.6	171	16.5	
いいえ	50	7.6	28	7.4	78	7.5	
計	654	100.0	380	100.0	1034	100.0	

要介護者との介護以前の関係についてたずねた。

地域間で差が見られたのは、「特別な日を一緒に過ごした」で、葛飾では「いいえ」が 15.6%であったのに対して、大館・田代では 21.8%と高かった。介護以前からの同居率では、大館・田代が葛飾に比べて高かったにもかかわらず、「特別な日を一緒に過ごした」割合が低かったということは、同居だけではない家族内の何らかの影響が考えられる。また、「経済的支援を受けていた」では、葛飾で 49.2%が「はい」であるのに対して、大館・田代では 55.2%と高く、大館・田代では半数以上の主介護者が要介護者から経済的支援を受けたことがあるということがわかる。

Q79 公的サービス利用に対する態度

表 134 公的サービス利用に対する態度 (Q44)

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
消極的に近い	295	45.5	200	52.8	495	48.2	P<.05
どちらかといえば消極的	136	21.0	69	18.2	205	19.9	
どちらかといえば積極的	121	18.6	50	13.2	171	16.6	
積極的に近い	97	14.9	60	15.8	157	15.3	
計	649	100.0	379	100.0	1028	100.0	

「A 身内で手がまわらない場合に限って公的サービスを利用する」、もしくは「B 身内で出来ることであっても公的サービスを利用する」のどちらかに考えが近いかたずねた。Aは消極的、Bは積極的とした。

全体では、「消極的」傾向が 68.1%で葛飾、大館・田代ともに高かった。

地域間比較では、葛飾で「どちらかといえば積極的」「積極的に近い」の割合が大館・田代に比べて高く、公的サービス利用には葛飾の方がやや積極的傾向であることがわかった。

Q80 介護に対する考え

表 135 介護に対する考え項目

(1) 家族高齢者への経済的支援は当然

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
大いに思う	235	36.1	201	53.0	436	42.3	P<.001
まあ思う	291	44.7	145	38.3	436	42.3	
あまり思うわない	99	15.2	27	7.1	126	12.2	
全く思うわない	26	4.0	6	1.6	32	3.1	
計	651	100.0	379	100.0	1030	100.0	

(2) 高齢者介護は必ずしも家族が担わなくてもよい

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
大いに思う	76	11.7	37	9.7	113	11.0	P<.01
まあ思う	228	35.1	134	35.2	362	35.1	
あまり思うわない	236	36.3	115	30.2	351	34.0	
全く思うわない	110	16.9	95	24.9	205	19.9	
計	650	100.0	381	100.0	1031	100.0	

(3) 家族は高齢者とともに過ごす時間を持つべきだ

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
大いに思う	251	38.4	174	45.8	425	41.1	P<.001
まあ思う	311	47.6	181	47.6	492	47.6	
あまり思うわない	79	12.1	23	6.1	102	9.9	
全く思うわない	13	2.0	2	0.5	15	1.5	
計	654	100.0	380	100.0	1034	100.0	

(4) 高齢者を家族で介護することで手本を示すべきだ

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
大いに思う	226	34.8	140	36.8	366	35.5	n.s.
まあ思う	257	39.5	161	42.4	418	40.6	
あまり思うわない	121	18.6	66	17.4	187	18.2	
全く思うわない	46	7.1	13	3.4	59	5.7	
計	650	100.0	380	100.0	1030	100.0	

(5) 介護のためとはいえ他人が家に入るのはいやだ

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
大いに思う	81	12.4	48	12.6	129	12.5	P<.01
まあ思う	166	25.4	76	19.9	242	23.4	
あまりそう思わない	219	33.5	108	28.3	327	31.6	
全くそう思わない	187	28.6	149	39.1	336	32.5	
計	653	100.0	381	100.0	1034	100.0	

介護に対する考えをたずねた。

地域間比較で有意差が見られたのは、「高齢者への経済的支援は当然」で、「大いに思う」「まあ思う」と答えた割合が大館・田代で 91.3%であり、葛飾の 80.8%に対して 10%以上も高い割合を示していた。また、「高齢者介護は必ずしも家族が担わなくてもよい」では、葛飾が「そう思う」の傾向が強くなり、大館・田代では「そう思わない」の傾向が強かった。「家族は高齢者とともに過ごす時間を持つべきだ」では、「そう思わない」と答えた割合が大館・田代に比べて葛飾の方が高かった。「介護のためとはいえ他人が家に入るのはいやだ」では、「大いに思う」「まあ思う」と答えた割合が葛飾で高く、他人が家に入ることへの抵抗感は大館・田代よりも葛飾で強い傾向であることがわかる。

Q81 要介護者の ADL 状況

表 136 要介護者の ADL 状況項目 (Q46)

(1) 入浴

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
自立	244	37.3	138	36.2	382	36.9	n.s.
一部介助	133	20.3	58	15.2	191	18.5	
全面介助	277	42.4	185	48.6	462	44.6	
計	654	100.0	381	100.0	1035	100.0	

(2) 階段昇降

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
自立	245	38.2	137	36.1	382	37.4	n.s.
一部介助	117	18.2	68	17.9	185	18.1	
全面介助	280	43.6	174	45.9	454	44.5	
計	642	100.0	379	100.0	1021	100.0	

(3) 着替え

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
自立	334	51.1	209	54.9	543	52.5	n.s.
一部介助	134	20.5	69	18.1	203	19.6	
全面介助	186	28.4	103	27.0	289	27.9	
計	654	100.0	381	100.0	1035	100.0	

(4)歩行

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
自立	281	43.3	212	55.6	493	47.9	P<.001
一部介助	150	23.1	67	17.6	217	21.1	
全面介助	218	33.6	102	26.8	320	31.1	
計	649	100.0	381	100.0	1030	100.0	

(5)室内移動

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
自立	413	63.3	251	65.9	664	64.3	n.s.
一部介助	73	11.2	45	11.8	118	11.4	
全面介助	166	25.5	85	22.3	251	24.3	
計	652	100.0	381	100.0	1033	100.0	

(6)食事

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
自立	493	75.4	308	80.8	801	77.4	n.s.
一部介助	65	9.9	30	7.9	95	9.2	
全面介助	96	14.7	43	11.3	139	13.4	
計	654	100.0	381	100.0	1035	100.0	

(7)トイレ

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
自立	433	66.4	254	66.8	687	66.6	n.s.
一部介助	65	10.0	34	8.9	99	9.6	
全面介助	154	23.6	92	24.2	246	23.8	
計	652	100.0	380	100.0	1032	100.0	

(8)整容

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
自立	423	64.6	260	68.6	683	66.1	n.s.
一部介助	79	12.1	45	11.9	124	12.0	
全面介助	153	23.4	74	19.5	227	22.0	
計	655	100.0	379	100.0	1034	100.0	

(9)排尿

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
自立	446	68.3	254	66.8	700	67.8	n.s.
一部介助	55	8.4	34	8.9	89	8.6	
全面介助	152	23.3	92	24.2	244	23.6	
計	653	100.0	380	100.0	1033	100.0	

(10) 排便

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
自立	439	67.1	254	66.8	693	67.0	n.s.
一部介助	61	9.3	36	9.5	97	9.4	
全面介助	154	23.5	90	23.7	244	23.6	
計	654	100.0	380	100.0	1034	100.0	

要介護者のADL状況についてたずねた。

地域間で差が見られたのは、「歩行」の項目で、葛飾では「全面介助」が33.6%と高かったのに対して、大館・田代では「自立」が55.6%と高かった。他の動作に関しては特に差は見られなかった。

Q82 ADL 介護ネットワーク

7) ADL 介護ネットワーク

表 137 ADL 介護ネットワーク (複数回答) (Q47-1)

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
配偶者	248	49.2	122	42.4	370	46.7	P<.05
同居の息子	116	23.0	105	36.5	221	27.9	P<.001
同居の娘	114	22.6	40	13.9	154	19.4	P<.01
同居の嫁(息子の配偶者)	90	17.9	116	40.3	206	26.0	P<.001
同居の婿(娘の配偶者)	30	6.0	11	3.8	41	5.2	n.s.
同居の孫	48	9.5	33	11.5	81	10.2	n.s.
別居の息子	27	5.4	3	1.0	30	3.8	P<.001
別居の娘	55	10.9	14	4.9	69	8.7	P<.01
別居の嫁(息子の配偶者)	21	4.2	3	1.0	24	3.0	P<.01
別居の婿(娘の配偶者)	7	1.4			7	0.9	P<.05
別居の孫	16	3.2	2	0.7	18	2.3	P<.05
兄弟	6	1.2	2	0.7	8	1.0	n.s.
姉妹	4	0.8	3	1.0	7	0.9	n.s.
その他の親族	11	2.2	9	3.1	20	2.5	n.s.
ホームヘルパー	160	31.7	68	23.6	228	28.8	P<.01
家政婦, お手伝いさん	5	1.0	2	0.7	7	0.9	n.s.
ボランティア	2	0.4	2	0.7	4	0.5	n.s.
友人・知人	5	1.0			5	0.6	n.s.
近所の人	3	0.6	2	0.7	5	0.6	n.s.
その他	39	7.7	39	13.5	78	9.8	P<.01
いない	3	0.6	3	1.0	6	0.8	n.s.

ADL 状況が「一部介助」または「全面介助」と回答した方に、その手助けをしている人が誰であるかたずねた。手助けをしている割合の高い順では、葛飾では、1.配偶者 (49.2%) 2. ホームヘルパー (31.7%) 3.同居の

息子 (23.0%), 大館・田代では 1.配偶者 (42.4%) 2.嫁 (40.3%) 3.同居の息子 (36.5%) であった。葛飾では配偶者が手助けの大部分を担い、大館・田代では同居の息子夫婦による手助けが大きいことがわかる。

葛飾、大館・田代ともに手助けをしてくれる人は親族が中心であるが、葛飾でホームヘルパーの割合が高かったのは大きな違いといえるだろう。

ADL 介護を主に手助けをしてくれる人

表 138 ADL 介護主に手助けしている人 (複数回答) (Q47-2)

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
配偶者	235	46.6	116	40.3	351	44.3	P<.05
同居の息子	53	10.5	34	11.8	87	11	n.s.
同居の娘	97	19.2	34	11.8	131	16.5	P<.01
同居の嫁(息子の配偶者)	71	14.1	94	32.6	165	20.8	P<.001
同居の婿(娘の配偶者)	6	1.2			6	0.8	n.s.
同居の孫	3	0.6	4	1.4	7	0.9	n.s.
別居の息子	7	1.4	1	0.3	8	1.0	n.s.
別居の娘	19	3.8	5	1.7	24	3.0	n.s.
別居の嫁(息子の配偶者)	5	1.0			5	0.6	n.s.
別居の婿(娘の配偶者)	3	0.6			3	0.4	n.s.
別居の孫	2	0.4			2	0.3	n.s.
兄弟	3	0.6			3	0.4	n.s.
姉妹	1	0.2	2	0.7	3	0.4	n.s.
その他の親族	7	1.4	3	1.0	10	1.3	n.s.
ホームヘルパー	43	8.5	18	6.3	61	7.7	n.s.
家政婦、お手伝いさん	1	0.2	1	0.3	2	0.3	n.s.
ボランティア							
友人・知人	1	0.2			1	0.1	n.s.
近所の人							
その他	14	2.8	11	3.8	25	3.2	n.s.
いない	3	0.6	3	1.0	6	0.8	n.s.

手助けをしてくれる人の中でも、主に手助けをしてくれる人が誰なのかについて回答してもらった。

地域間で有意差が見られたのは、同居の嫁 (葛飾 14.1%, 大館・田代 32.6%), 同居の娘 (葛飾 19.2%, 大館・田代 11.8%), 配偶者 (46.6%, 40.3%) であった。

Q83 IADL 状況

表 139 IADL 状況項目 (Q48)

(1) 部屋の掃除

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
している	75	11.5	79	20.7	154	14.9	P<.001
していない	580	88.5	302	79.3	882	85.1	
計	655	100.0	381	100.0	1036	100.0	

(2) 衣類の洗濯

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
している	110	16.8	86	22.6	196	18.9	P<.05
していない	545	83.2	295	77.4	840	81.1	
計	655	100.0	381	100.0	1036	100.0	

(3) 日用品の買い物

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
している	85	13.0	46	12.1	131	12.6	n.s.
していない	570	87.0	335	87.9	905	87.4	
計	655	100.0	381	100.0	1036	100.0	

(4) 食事のしたく

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
している	98	15.0	47	12.3	145	14.0	n.s.
していない	557	85.0	334	87.7	891	86.0	
計	655	100.0	381	100.0	1036	100.0	

(5) 請求書の支払い

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
している	155	23.7	98	25.7	253	24.4	n.s.
していない	500	76.3	283	74.3	783	75.6	
計	655	100.0	381	100.0	1036	100.0	

(6) 電話をかける

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
している	314	48.0	98	45.4	253	47.1	n.s.
していない	340	52.0	283	54.6	783	52.9	
計	654	100.0	381	100.0	1036	100.0	

(7)薬を飲む

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
している	352	53.7	235	62.0	587	56.8	P<.01
していない	303	46.3	144	38.0	447	43.2	
計	655	100.0	379	100.0	1034	100.0	

(8)ひとりで外出する

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
している	76	11.6	56	14.7	132	12.8	n.s.
していない	578	88.4	325	85.3	903	87.2	
計	654	100.0	381	100.0	1035	100.0	

要介護者の IADL 状況について「している」「していない」で回答してもらった。地域間で有意差が見られたのは、「部屋の掃除」「洗濯」「薬を飲む」であった。

Q84 家事を辞めた理由

表 140 家事を辞めた理由（複数回答）（Q49）

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
健康状態悪化(痴呆進行含)	527	83.5	292	80.0	819	82.2	n.s.
子どもが結婚したから	5	0.8	1	0.3	6	0.6	n.s.
配偶者が死亡したから	20	3.2	3	0.8	23	2.3	P<.05
介護者と同居したから	55	8.7	49	13.4	104	10.4	P<.05
もともとしていなかった	110	17.4	125	34.2	235	23.6	P<.001
その他	11	1.7	6	1.6	17	1.7	n.s.

IADL 状況の中で、家事を本人以外が行うことになった理由をたずねた。

理由として最も多かったのは、「健康状態が悪化した」で葛飾 83.5%、大館・田代 80.0%であった。地域間で差が見られたのは、「もともとしていなかった」で、葛飾では 17.2%であるのに対して大館・田代では 34.2%と高かった。大館・田代では要介護状態に関わらず、もともと家事動作を本人が行わず家族がかわって行って来ていた傾向が強いということが推測される。

Q85 IADL 介護ネットワーク

8) IADL 介護ネットワーク

表 141 IADL 介護ネットワーク (複数回答) (Q50-1)

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
配偶者	296	48.6	148	43.0	444	46.6	n.s.
同居の息子	136	22.3	135	39.2	271	28.4	P<.001
同居の娘	129	21.2	45	13.1	174	18.3	P<.001
同居の嫁(息子の配偶者)	110	18.1	148	43.0	258	27.1	P<.001
同居の婿(娘の配偶者)	28	4.6	9	2.6	37	3.9	n.s.
同居の孫	47	7.7	35	10.2	82	8.6	n.s.
別居の息子	35	5.7	5	1.5	40	4.2	P<.001
別居の娘	82	13.5	23	6.7	105	11.0	P<.001
別居の嫁(息子の配偶者)	22	3.6	4	1.2	26	2.7	P<.05
別居の婿(娘の配偶者)	6	1.0	1	0.3	7	0.7	n.s.
別居の孫	15	2.5	2	0.6	17	1.8	P<.05
兄弟	4	0.7	3	0.9	7	0.7	n.s.
姉妹	6	1.0	3	0.9	9	0.9	n.s.
その他の親族	14	2.3	11	3.2	25	2.6	n.s.
ホームヘルパー	187	30.7	56	16.3	243	25.5	P<.001
家政婦, お手伝いさん	5	0.8	1	0.3	6	0.6	n.s.
ボランティア	1	0.2	2	0.6	3	0.3	n.s.
友人・知人	5	0.8			5	0.5	n.s.
近所の人	5	0.8	1	0.3	6	0.6	n.s.
その他	10	1.6	24	7.0	34	3.6	P<.001
いない	1	0.2	1	0.3	2	0.2	n.s.

IADL 状況が「一部介助」または「全面介助」と回答した方に誰が手助けしているのかたずねた。

最も多かったのは葛飾, 大館・田代ともに配偶者であった。

地域別で比較すると, 葛飾では, 同居の息子・娘, 別居の息子・娘の割合が高く, 大館・田代では同居の息子, 同居の嫁の割合が高かった。ホームヘルパーでは, 葛飾で 30.7%で大館・田代の 16.3%に比べて高い割合を示した。

IADL 介護を主に手助けしている人

表 142 IADL 介護を主に手助けして人（複数回答）（Q50-2）

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
配偶者	280	46.0	140	40.7	420	44.1	n.s.
同居の息子	63	10.3	43	12.5	106	11.1	n.s.
同居の娘	109	17.9	37	10.8	146	15.3	P<.01
同居の嫁(息子の配偶者)	88	14.4	117	34.0	205	21.5	P<.001
同居の婿(娘の配偶者)	4	0.7	1	0.3	5	0.5	n.s.
同居の孫	6	1.0	6	1.7	12	1.3	n.s.
別居の息子	11	1.8	1	0.3	12	1.3	P<.05
別居の娘	31	5.1	7	2.0	38	4.0	P<.05
別居の嫁(息子の配偶者)	7	1.1	1	0.3	8	0.8	n.s.
別居の婿(娘の配偶者)	1	0.2			1	0.1	n.s.
別居の孫	3	0.5			3	0.3	n.s.
兄弟	3	0.5	1	0.3	4	0.4	n.s.
姉妹	5	0.8	2	0.6	7	0.7	n.s.
その他の親族	9	1.5	5	1.5	14	1.5	n.s.
ホームヘルパー	56	9.2	10	2.9	66	6.9	P<.001
家政婦, お手伝いさん			1	0.3	1	0.1	n.s.
ボランティア							
友人・知人	1	0.2			1	0.2	n.s.
近所の人							
その他	4	0.7	3	0.9	7	0.7	n.s.
いない	1	0.2	1	0.3	2	0.2	n.s.

主に手助けしている人は誰かをたずねた。

割合が高かったのは、葛飾では配偶者、同居の娘、同居の嫁。大館・田代では、配偶者、同居の嫁、同居の息子であった。同居の嫁では、葛飾が 14.4% に対して大館・田代では 34.0% と大きな差が見られた。また、ホームヘルパーについては、大館・田代が 2.9% であるのに対して葛飾では 9.2% と約 1 割が IADL の手助けをヘルパーにゆだねていることがわかる。

Q86 要介護者の痴呆状態

表 143 要介護者の痴呆状態の項目 (Q51-1)

(1)自分の年齢がわからない

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	182	27.9	118	31.2	300	29.1	n.s.
いいえ	471	72.1	260	68.8	731	70.9	
計	653	100.0	378	100.0	1031	100.0	

(2)時々道を間違える

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	121	18.8	68	18.6	198	18.8	n.s.
いいえ	521	81.2	298	81.4	819	81.3	
計	642	100.0	366	100.0	1008	100.0	

(3)自分の住んでいる居住地区がわからない

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	154	23.8	98	26.1	252	24.6	n.s.
いいえ	494	76.2	278	73.9	772	75.4	
計	648	100.0	376	100.0	1024	100.0	

(4)自分の家だとわからないことがある

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	88	13.5	51	13.5	139	13.5	n.s.
いいえ	564	86.5	327	86.5	891	86.5	
計	652	100.0	378	100.0	1030	100.0	

(5)親族を他人と間違える

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	76	11.8	50	13.3	126	12.3	n.s.
いいえ	569	88.2	327	86.7	896	87.7	
計	645	100.0	377	100.0	1022	100.0	

(6)食事をしたのに食べていないという

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	100	15.3	62	16.4	162	15.7	n.s.
いいえ	553	84.7	317	83.6	870	84.3	
計	653	100.0	379	100.0	1032	100.0	

(7) 自分の子どもの人数が答えられない

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	106	16.3	71	18.8	177	17.2	n.s.
いいえ	543	83.7	307	81.2	850	82.8	
計	649	100.0	378	100.0	1027	100.0	

(8) 家の中を目的もなく歩き回る

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	30	4.6	35	9.3	65	6.3	P<.01
いいえ	618	95.4	343	90.7	961	93.7	
計	648	100.0	378	100.0	1026	100.0	

(9) 鏡に話しかける

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	18	2.8	13	3.5	31	3.0	n.s.
いいえ	634	97.2	363	96.5	997	97.0	
計	652	100.0	376	100.0	1028	100.0	

(10) 1日中とりとめのない話をする

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	53	8.2	46	12.1	99	9.6	P<.05
いいえ	597	91.8	333	87.9	930	90.4	
計	650	100.0	379	100.0	1029	100.0	

(11) 同じ動作を繰り返す

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	77	11.8	55	14.6	132	12.8	n.s.
いいえ	573	88.2	323	85.4	896	87.2	
計	650	100.0	378	100.0	1028	100.0	

(12) 手当たり次第食事をする

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	53	8.1	31	8.2	84	8.1	n.s.
いいえ	601	91.9	348	91.8	949	91.9	
計	654	100.0	379	100.0	1033	100.0	

(13) 入浴や着替えを嫌がる

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	52	8.0	25	6.6	77	7.5	n.s.
いいえ	601	92.0	352	93.4	953	92.5	
計	653	100.0	377	100.0	1030	100.0	

(14)洗面所の場所がわからない

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	46	7.1	22	5.9	68	6.6	n.s.
いいえ	604	92.9	354	94.1	958	93.4	
計	650	100.0	376	100.0	1026	100.0	

(15)夜起きて騒ぐ

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	55	8.4	32	8.4	87	8.4	n.s.
いいえ	599	91.6	347	91.6	946	91.6	
計	654	100.0	379	100.0	1033	100.0	

(16)食べ物でないものを口に入れる

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	23	3.5	13	3.4	36	3.5	n.s.
いいえ	630	96.5	365	96.6	995	96.5	
計	653	100.0	378	100.0	1031	100.0	

過去1ヶ月の間に見られた要介護者の痴呆行動についてたずねた。

全体で「はい」と回答した割合が高かったのは、「自分の年齢がわからない」(葛飾27.9%, 大館・田代31.2%)「自分の住んでいる居住地区がわからない」(葛飾23.8%, 大館・田代26.1%)などであった。「食事したのに食べていないという」や「同じ動作を繰り返す」では10~15%の割合で出現していた。

地域間で有意差が見られたのは、「家の中を目的もなく歩き回る」「一日中取りとめのない話をする」であった。

Q87 痴呆介護のネットワーク

9) 痴呆介護ネットワーク

表 144 痴呆介護ネットワーク (複数回答) (Q52-1)

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
配偶者	42	30.9	19	28.8	61	30.2	n.s.
同居の息子	44	32.4	34	51.5	78	38.6	P<.01
同居の娘	34	25.0	9	13.6	43	21.3	P<.05
同居の嫁(息子の配偶者)	46	33.8	38	57.6	84	41.6	P<.001
同居の婿(娘の配偶者)	11	8.1	1	1.5	12	5.9	n.s.
同居の孫	15	11.0	4	6.1	19	9.4	n.s.
別居の息子	5	3.7			5	2.5	n.s.
別居の娘	17	12.5	7	10.6	24	11.9	n.s.
別居の嫁(息子の配偶者)	3	2.2			3	1.5	n.s.
別居の婿(娘の配偶者)							
別居の孫	3	2.2			3	1.5	n.s.
兄弟	1	0.7			1	0.5	n.s.
姉妹	1	0.7			1	0.5	n.s.
その他の親族	3	2.2	3	4.5	6	3.0	n.s.
ホームヘルパー	26	19.1	6	9.1	32	15.8	P<.05
家政婦, お手伝いさん	2	1.5	1	1.5	3	1.5	n.s.
ボランティア	1	0.7			1	0.5	n.s.
友人・知人	1	0.7			1	0.5	n.s.
近所の人	1	0.7			1	0.5	n.s.
その他	5	3.7	2	3.0	7	3.5	n.s.
いない	2	1.5			2	1.0	n.s.

要介護者の痴呆の介護を手助けしている人が誰なのか複数回答で答えたもらった。

痴呆介護では、同居の嫁 41.6%、同居の息子 38.6%が高い割合を示し、ADL と IADL で手助けの割合が高かった配偶者は 30.2%にとどまった。

地域比較でも、葛飾で同居の息子 32.4%、同居の嫁 33.8%、大館・田代で同居の息子 51.5%、同居の嫁 57.6%で、痴呆介護においては配偶者より若年世代に手助けが求められていることがわかった。

葛飾では、ホームヘルパーが手助けする割合が 19.1%で、大館・田代 9.1%に比べて 2 倍以上の高い割合であった。

痴呆介護を主に手助けしている人

表 145 痴呆介護を主に手助けしている人（複数回答）（Q52-2）

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
配偶者	38	27.9	17	25.8	55	27.2	n.s.
同居の息子	22	16.2	12	18.2	34	16.8	n.s.
同居の娘	31	22.8	8	12.1	39	19.3	P<.05
同居の嫁(息子の配偶者)	39	28.7	36	54.5	75	37.1	P<.001
同居の婿(娘の配偶者)	3	2.2			3	1.5	n.s.
同居の孫							
別居の息子							
別居の娘	6	4.4	1	1.5	7	3.5	n.s.
別居の嫁(息子の配偶者)	1	0.7			1	0.5	n.s.
別居の婿(娘の配偶者)							
別居の孫							
兄弟							
姉妹							
その他の親族	2	1.5	1	1.5	3	1.5	n.s.
ホームヘルパー	8	5.9			8	4.0	P<.05
家政婦, お手伝いさん							
ボランティア							
友人・知人							
近所の人							
その他	1	0.7			1	0.5	n.s.
いない	2	1.5			2	1.0	n.s.

痴呆介護を主に手助けしている人が誰なのかたずねたところ、最も多かったのが同居の嫁で 37.1%であった。地域間比較では、葛飾で同居の娘の割合が 22.8%と最も高く、大館・田代の 12.1%とでは有意差が見られた。一方、大館・田代では、同居の嫁の割合が 54.5%と最も高く、葛飾の 28.7%の 2 倍に近かった。

痴呆介護では、繰り返しの動作や目を話せない緊張感などから精神的疲労度も高いために、高齢な配偶者よりも、若年の娘や嫁に委ねられている傾向が高いことがわかった。

Q88 介護支援専門員（ケアマネージャー）

10) ケアマネージャーの有無

表 146 ケアマネージャーの有無（Q53）

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
いる	602	91.9	295	77.6	897	86.7	P<.001
いない	53	8.1	85	22.4	138	13.3	
計	655	100.0	380	100.0	1035	100.0	

介護支援専門員（ケアマネージャー）の有無をたずねたところ、「いる」と回答したのが、葛飾91.9%、大館・田代77.6%であった。葛飾と比較して大館・田代で「いない」が22.4%と高かった理由には、「認定は受けたがサービスは利用していない」ために関わりがないということも考えられる。

ケアマネージャーとの連絡頻度

表 147 ケアマネとの連絡頻度（Q53-SQ1）

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
月1回以上	470	79.1	182	63.0	652	73.8	P<.001
2~3ヶ月に1回	39	6.6	36	12.5	75	8.5	
年に2~3回	40	6.7	46	15.9	86	9.7	
年に1回	24	4.0	9	3.1	33	3.7	
年に1回未満	21	3.5	16	5.5	37	4.2	
計	594	100.0	289	100.0	883	100.0	

ケアマネージャーとの連絡頻度についてたずねた。

月1回以上が両地域ともに最も多かったが、葛飾で79.1%、大館・田代では63.0%と16%の差が見られた。大館・田代では「年に2~3回」が15.9%と葛飾の6.7%に比べて高く連絡頻度が少ないといえる。この背景には、都市部と農村部における居宅介護支援事業所数やケアマネージャーの担当利用者数の違いなども影響しているのではないかと推測される。

ケアマネジャーの評価

表 148 ケアマネジャーの評価項目 (Q53-SQ2)

(1) 介護について相談に乗る

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	535	91.3	259	91.8	794	91.5	n.s.
いいえ	51	8.7	23	8.2	74	8.5	
計	586	100.0	282	100.0	868	100.0	

(2) わかりやすい説明

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	529	90.4	260	91.5	789	90.8	n.s.
いいえ	56	9.6	24	8.5	80	9.2	
計	585	100.0	284	100.0	869	100.0	

(3) 的確な判断

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	522	90.0	257	90.8	779	90.3	n.s.
いいえ	58	10.0	26	9.2	84	9.7	
計	580	100.0	283	100.0	863	100.0	

(4) 時々様子をうかがう

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	419	71.5	176	62.2	595	68.5	P<.01
いいえ	167	28.5	107	37.8	274	31.5	
計	586	100.0	283	100.0	869	100.0	

(5) 判断を押しつける

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	52	8.9	23	8.0	75	8.6	n.s.
いいえ	532	91.1	263	92.0	795	91.4	
計	584	100.0	286	100.0	870	100.0	

(6) 要介護者の立場で考える

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	524	89.7	251	88.4	775	89.3	n.s.
いいえ	60	10.3	33	11.6	93	10.7	
計	584	100.0	284	100.0	868	100.0	

(7) 不満を聞いてくれる

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	473	83.0	232	86.6	705	84.1	n.s.
いいえ	97	17.0	36	13.4	133	15.9	
計	570	100.0	268	100.0	838	100.0	

(8) サービス内容の変更を聞かない

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	81	14.2	54	20.0	135	16.1	P<.05
いいえ	490	85.8	216	80.0	706	83.9	
計	571	100.0	270	100.0	841	100.0	

ケアマネジャーの仕事について主介護者の立場から評価してもらった。

ほとんどの項目が80～90%台の良い評価傾向であり、主介護者にとっては「相談にのり、わかりやすい説明で的確なアドバイスを利用者の立場で与えてくれる」ケアマネジャー像が読み取れる。

地域間比較では、「時々様子をうかがう」で「いいえ」の割合が葛飾が28.5%なのに対して大館・田代では37.8%と高く、前出の「連絡頻度」の少なさの影響とも推測される。また、「サービス内容の変更を聞かない」では、葛飾で14.2%、大館・田代では20.0%が「はい（聞かない）」と回答しており、このことはケアマネジャーの資質として課題とされるだろう。

Q89 ホームヘルプの利用

表 149 ホームヘルプの利用 (Q54)

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
現在利用している	295	45.0	86	22.6	381	36.8	P<.001
現在は利用していない	63	9.6	28	7.3	91	8.8	
利用したことがない	297	45.3	267	70.1	564	54.4	
計	655	100.0	381	100.0	1036	100.0	

ホームヘルプサービスの利用についてたずねたところ、全体では36.8%が現在利用しており、54.4%は「利用したことがない」と回答している。

地域比較では、「利用したことがない」割合が、大館・田代で70.1%と高く、葛飾の45.3%に比べ利用されていないことがわかった。

表 150 ホームヘルプの利用回数・利用時間数 (Q54-SQ)

利用回数

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	Mean	SD	Mean	SD	Mean	SD	
平均	3.20	2.42	2.55	2.39	3.05	2.43	P<.05

利用時間数

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	Mean	SD	Mean	SD	Mean	SD	
平均	5.92	6.11	3.87	5.14	5.46	5.97	P<.01

「現在、利用している」と回答した方に調査時の前週の利用回数とその時間数をたずねた。

平均では葛飾が3.20回、大館・田代が2.55回で葛飾の利用回数が多かった。利用時間単に換算すると、葛飾が5.92時間で、大館・田代の3.87時間に比べて2時間以上も多かった。

Q90 デイサービス・デイケアの利用

表 151 デイサービス・デイケアの利用 (Q55)

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	Mean	%	Mean	%	Mean	%	
現在利用している	242	36.9	224	58.8	456	45.0	P<.001
現在は利用していない	88	13.4	33	8.7	121	11.7	
利用したことがない	325	49.6	124	32.5	449	43.3	
	655	100.0	381	100.0	1036	100.0	

デイサービス・デイケアの利用についてたずねたところ、「現在、利用している」では、葛飾36.9%よりも大館・田代が58.8%と高い利用割合を示していた。地域間で有意差が見られた。

表 152 デイサービス・デイケアの利用回数 (Q55-SQ)

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	Mean	SD	Mean	SD	Mean	SD	
平均	7.14	4.44	5.27	3.23	6.24	4.01	P<.001

調査時、前月の利用回数をたずねたところ、平均で葛飾が7.14回、大館・田代が5.27回で地域間に有意差が見られた。葛飾では週1~2回、大館・田代では週1回程度の利用であることが考えられる。